

(参考様式2)

事前点検シート

計画主体名	霧島市		
計画期間	H24～H28	総事業費(交付金)	200,000千円(110,000千円)
実施期間	H24～H28		

1 計画全体について

項目	チェック欄	判断根拠
目標及び事業活用活性化計画目標が、農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律及び同法に基づき国が策定する基本方針と適合しているか		用排水整備、管理道路整備により生産条件が整備され、これにより機能が確保された農地の増加に伴い、担い手農家を中心に農村の活性化を促し、都市部との交流の促進及び農業者人口の減少を抑制し、農家の定住を促進することができる。
市町村総合計画、農業振興地域整備計画、土地改良事業計画、森林・林業基本計画、特定漁港漁場整備事業計画その他各種関連制度・施策との連携、配慮、調和等が図られているか		活性化目標は、県と市の「農業農村事業管理計画」及び市の「市町村総合計画」等に基づき設定している。
活性化計画及び交付対象事業別概要は関係農林漁業者をはじめとした地域住民等の合意形成を基礎としたものになっているか		霧島地区の地域審議会において本計画が審議されている。
活性化計画の策定にあたり、女性の意見や提案などを聞く機会を設けているか		霧島地区の地域審議会において本計画が審議されており、審議会の委員15名のうち女性が4名。
事業の推進体制は確立されているか		地域においては、土地改良区が中心となり事業推進を行っている。
目標及び事業活用活性化計画目標と事業内容の整合性が確保されているか		目標及び事業活用活性化計画目標として示した生産条件整備として農道を整備し、定住者の減少幅の緩和を目指す計画である。
計画期間・実施期間は適切か		計画期間：基本方針 原則3年～5年程度 本計画 H25～H29 5年 実施期間：実施要綱 原則3年～5年以内
交付金要望額は交付限度額(事業費×交付額算定交付率)の範囲内か		交付金要望額は、実施要綱及び実施要領の別表に定める交付額算定交付率に基づき算定。年度別事業実施計画による。

2 個別事業について

項 目	チェック欄	判 断 根 拠
自力若しくは他の助成によって実施中又は既に完了した施設等を本交付金に切り替えて交付対象とするものでないか		該当無し
増改築等若しくは合体又は古材を利用した施設整備を行う場合は、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の運用に定める基準を満たしているか		該当無し
交付対象とする施設等は減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第34号)別表等による耐用年数がおおむね5年以上のものであるか		「土地改良事業における経済効果の測定に必要な諸係数について」(平成9年1月8構改C第463)別表標準耐用年数より：連絡農道(コンクリート敷)標準耐用年数15年
事業による効果の発現は確実に見込まれるか		
費用対効果分析の手法は適切か(農山漁村活性化プロジェクト支援交付金費用対効果算定要領(平成19年8月1日付け19企第106号農林水産省大臣官房長通知)により適切に行われているか)		農山漁村活性化プロジェクト支援交付金費用対効果算定要領第2に基づき算定している。
上記の費用対効果分析による算定結果が1.0以上となっているか		農山漁村活性化プロジェクト支援交付金費用対効果算定要領第2の3に基づき、投資効率は1.0とみなして算定した。<土地改良施設保全、連絡農道>
事業内容、事業実施主体等については実施要綱等に定める要件等を満たしているか		用排水整備、管理道路整備、散策道整備を行い、生産条件を整備確保することにより、農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律の活性化計画の区域における定住等の促進に資する。事業実施主体は霧島市であるので妥当である。
個人に対する交付ではないか、また目的外使用のおそれがないか		実施を予定する事業は、公共的施設整備に位置づけられる内容となっているため、個人に対する交付ではなく目的外使用のおそれもないものとなっている。
施設等の利活用の見通し等は適正か		
地域間交流の拠点となる施設にあっては当該地区の入り込み客数や都市との交流状況(現状と今後の見込み)を踏まえているか		現在利用されている営農上必要な用排水施設、管理道路であり、今後も活用が見込まれる。散策道も兼ねるため、観光客が出入りしており早急な整備が望まれている。

近隣市町村の類似施設等の賦存状況と利用状況等を踏まえているか。		近隣の牧園総合支所の温泉郷と毎年3月に実施される「龍馬ハネムーンウォーク」との連携を図り観光客のニーズに合わせた観光ルート等を今後検討する。
利用対象者、利用時期など施設の利用形態を検討しているか		近隣の牧園総合支所の温泉郷と毎年3月に実施される「龍馬ハネムーンウォーク」との連携を図り観光客のニーズに合わせた観光ルート等を今後検討する。
施設等の規模や設置場所、地域における他の施設との有機的な連携等、当該施設等の利用環境等について検討されているか		近隣の牧園総合支所の温泉郷と毎年3月に実施される「龍馬ハネムーンウォーク」との連携を図り観光客のニーズに合わせた観光ルート等を今後検討する。
施設の利用や運営等にあたって、女性参画への配慮や促進のための取組がなされているか		該当無し
事業費積算等は適正か		
過大な積算としていないか		見積及び標準積算システムにより積算を実施している。
建設・整備コストの低減に努めているか		再生材を使用するなどコストの低減に努めている。
附帯施設は交付対象として適正か(必要性はあるか、汎用性の高いものを交付対象としていないか)		該当無し
備品は交付対象として適正か(汎用性の高いものを交付対象としていないか)		該当無し
整備予定場所は、集客の立地性、農林漁業者の利便性等、施設の設置目的から勘案して適正か		現況用排水路、管理道路、散策道の整備のため、現在利用されている位置での整備である。
施設用地が確保されている又は確保される見通しがついているか		現況施設の改修工事であるが、用地確保は必要である。現在用地については、ほぼ、同意を得ている。
体験交流機能に加え宿泊機能を備えた施設を整備する場合には、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の運用(平成19年8月1日付け19企第102号農林水産省大臣官房長通知)に定める基準を満たすとともに、その必要性について十分に検討しているか		該当無し
交付対象は施設別上限事業費及び上限規模の範囲内か		
処理加工・集出荷貯蔵施設については、「強い農業づくり交付金実施要領」(平成17年4月1日付け16生産第8262号農林水産大臣官房国際部長、総合食料局長、経営局長通知)別記の第1の2の(4)のウの基準に照らし適正であるか		該当無し
地域間交流拠点については、延べ床面積㎡当たり29万円以内かつ延べ床面積1,500㎡以内であるか		該当無し

地域連携販売力強化施設については、以下の内容を満たすものとなっているか。		
地域内外又は地域間の相互連携の促進のための取組がなされているか		該当無し
生産者の販売力強化・ブランド化等に資するために必要な施設であるか		該当無し
1年を通して運営される施設であるか		該当無し
6次産業化や女性参画の促進に寄与する施設であるか		該当無し
事業実施主体の負担（起債、制度資金の活用等を含む）について十分検討され、適正な資金調達計画と償還計画が策定されているか		事業主体の負担については、適正に資金調達計画がされており、市議会の承認を得ている。
入札方式は一般競争入札又はこれと同等の競争性のある契約方式によるなど適切なものとなっているか。一般競争入札に付さない場合は、その理由は明確か		該当無し
整備後において施設の管理・運営が適正に行われる見込みであるか		
維持管理計画は適正か（施設の管理・更新に必要な資金は検討済みか）		維持管理計画については、受益者、市により維持管理を行っていく計画である。
収支を伴う施設等にあっては収支計画を策定しているか。また、事業費が5,000万円以上のものについては経営診断を受け、適正なものとなっているか		該当無し
他の事業との合体施行等の場合、事業費の按分等が適正に行われているか		該当無し
他の事業への重複申請（予定も含む。）はないか（ある場合には、事業名を記載すること。）		該当無し